

横浜市西スポーツセンター

指定管理者選定委員会

選定結果報告書

令和3年8月

## 1 経緯

横浜市西スポーツセンターの第4期指定管理者の選定にあたり、横浜市西スポーツセンター指定管理者選定委員会（以下、「選定委員会」という。）は、応募者から提出された応募書類の内容審査及び公開の面接審査を行いました。

このたび、審査が終了し、指定候補者を選定いたしましたので、ここに選定結果を報告します。

## 2 選定委員会 委員

委員長	坂田 公一	さわやかスポーツ研究所所長
委員	有村 知里	中小企業診断士
	高田 初夫	西区青少年指導員協議会会長
	西田 千寿子	西区主任児童委員連絡会代表

## 3 指定候補者 選定の経過

経過項目	日程
◆第1回選定委員会（傍聴者3名） 1 委員長の選出 2 選定スケジュールについて 3 西スポーツセンター第4期指定管理者公募書類等の決定	令和3年4月23日（金）
公募書類の配布（ホームページにて公表）	令和3年5月14日（金） ～7月9日（金）
応募説明会及び現地見学会 ※申込は、令和3年5月26日（水）まで （申込15団体、15名）	令和3年5月27日（木）
公募に関する質問受付（11団体、144問）	令和3年5月28日（金） ～6月4日（金）
公募に関する質問回答	令和3年6月18日（金）
応募書類の提出（4団体）	令和3年7月8日（木） ～7月9日（金）
◆第2回選定委員会（一部公開） 面接審査 ・プレゼンテーション（傍聴者3名） ・質疑	令和3年8月20日（金）

◆は選定委員会

## 4 選定にあたっての考え方

選定委員会では、「横浜市西スポーツセンター 第4期指定管理者 公募要項」（以下、「公募要項」という。）においてあらかじめ定めた「評価基準項目」に従って、応募者から提出された応募書類を審査し、指定候補者を選定しました。

選定にあたっては、応募書類の内容審査及び面接審査（公開プレゼンテーション及び質疑）を行いました。

なお、評価は、各委員が合計105点及び加減点項目により実施し、その合計点を委員会としての点数としました。

項目	審査の視点（例）	配点
1 団体の状況（様式 8）		9
(1) 施設の管理運営の基本方針	本市の行政課題及び施策を踏まえた施設管理の基本方針について示されているか。	3
(2) 基本方針を実施する為の目標及び実施策	基本方針を踏まえた当該施設分野等の目標及び実施策について示されているか。	3
(3) 安定的な経営体力と適正な経営情報開示（経営の透明性）	天災等の発生後も安定的な施設の管理運営を行うことが可能な経営体制、経営体力、適正な経営の情報開示（透明性）、類似施設の管理実績について示されているか。	3
2 施設の平等・公平な利用の確保（様式 9）		10
(1) 公共性・公平性に基づいた利用の確保	誰もが平等・公平に利用できる仕組みづくりと、多様な利用者への配慮について示されているか。	4
(2) 多言語化に関する取組	施設立地に配慮し、外国人利用者対応を踏まえた、多言語や多指向に対応する具体的な方策が示されているか。	2
(3) 障害者の利用支援に関する取組	障害者の利用支援に対して、具体的な提案が示されているか。	4
3 施設の効用の最大限発揮（様式 10）		20
(1) 利用者本位のサービス提供・利用者の支援	利用者の利便性向上のための新たな取組（キャッシュレス決済等）を実践・実行できる体制について示されているか。貸切、個人の利用者に対しての支援策について示されているか。	4
(2) 広報・利用促進活動	実現可能な広報・利用促進策を有している。魅力ある教室の開催やイベント等によって、集客力を向上させる計画が示されているか。	4
(3) スポーツ教室等の計画	具体性のあるスポーツ教室等の事業計画及び想定スケジュールが示されているか。	4
(4) 自主事業の計画	利用者の多様なニーズに対応し、サービス向上に資する、具体的な自主事業計画を示されているか。	4
(5) 業務履行体制	安全かつ効率的に業務を履行できる体制について示されているか。	4
4 本市の重要施策を踏まえた取組（様式 11）		6
(1) 個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注など、本市の重要施策を踏まえた取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報保護の取組に具体性があるか。情報公開への取組が適切であるか。</li> <li>・ヨコハマ 3 R 夢プラン、人権尊重、男女共同参画推進など横浜市の重要施策を踏まえた、取組となっているか。</li> <li>・市中小企業振興基本条例の趣旨を踏まえた取組となっているか。</li> </ul>	6
5 管理運営経費（様式 12、19～24）		22
(1) 利用料金等収入増及び経費削減への取組	利用料金等の収入計画が適切であり、増収策及び経費削減策が具体的、効果的であるか。	8
(2) 施設の課題等に応じた費用配分	利用者サービスのための経費や修繕費への配分など、施設の特長や課題に応じた、費用配分となっているか。	8
(3) 適正な委託・調達・雇用	業務委託内容及び金額、事業者選定方法の計画について示されているか。	4

	(4) 指定管理料の額	指定管理料の設定は、区が想定した金額以下となっているか。	2
6	施設管理（様式 13）		10
	(1) メンテナンス及び環境保持・環境配慮	施設の点検、清掃、外構植栽の管理等の予算について示されているか。また、地球温暖化対策等について示されているか。	5
	(2) 修繕等への取組	施設の安全確保及び長寿命化の観点から、適切かつ積極的な修繕計画及びその予算が示されているか。建築局が実施する劣化調査や二次点検等を考慮し、優先的に行うべき修繕等に対応可能な計画となっているか。	5
7	安全管理（様式 14）		6
	(1) 平常時の体制	安全・安心に利用できる体制について示されているか。また、事業体全体の危機管理体制について示されているか。	3
	(2) 緊急時の体制	緊急時の体制及び救急体制について示されているか。また、補償体制について示されているか。	3
8	地域との協力（様式 15）		14
	(1) 地域支援	地域におけるスポーツ振興事業の取組について具体的に示されているか。	7
	(2) 地域連携・地域貢献	地域連携や地域貢献に対する取組について具体的に示されているか。	7
9	モニタリング（様式 16）		3
	(1) 自己評価・第三者評価	事業の評価を実行するとともに、PDCAマネジメント等の事業改善策について示されているか。	3
10	新型コロナウイルス感染症等の対策に関する取組（様式 17）		5
	(1) 新型コロナウイルス感染症等への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に係る具体的な取組や考え方が提案されているか。（具体的感染防止対策、教室事業等実施時の工夫、料金収入減に対する対応策等）</li> <li>・with/after コロナを見据えた施設運営、事業展開の方針が示されているか。</li> </ul>	5
合計			105
11	加減点項目		
	(1) 市内中小企業等であるか	市内中小企業等 ・市内中小企業 ・中小企業等協同組合法第3条に規定する事業協同組合、事業協同小組合及び信用協同組合のうち、市内に住所を有する者 ・地域住民を主体とした施設の管理運営等のために、地域住民を中心に設立された団体 ※共同事業体の場合は、代表団体が市内中小企業等であること。	該当の場合 +5
	(2) 前期の管理運営の実績（現在の指定管理者のみ）	実績が良好であるか。	-5 ～ +5

※ 財務状況の評価が著しく悪い場合は、選定から除外する場合があります。

※ 指定候補者及び次点候補者となるためには、選定委員会の定める最低基準点（加減点項目を除く評価基準項目の合計 105 点の 6 割以上）を満たすことが必要です。最低基準に満たない場合は、応募団体が 1 団体のみであっても指定候補者として選定せず、再度公募を行います。

## 5 応募者の資格等の確認

公募要項に定める「応募者の資格」「欠格事項」「応募者の失格」について、該当のないことを確認しました。

## 6 応募団体（4団体：申込受付順）

- (1) 東急スポーツオアシス・日本水泳振興会共同事業体
- (2) 野村不動産ライフ＆スポーツ・横浜市スポーツ協会共同事業体
- (3) YOKOHAMA にしくスポーツコミュニティ
- (4) スポーツでつながる 西区みらいパートナーズ

## 7 選定結果

選定委員会において厳正な審査を行った結果、次の団体を指定候補者及び次点候補者に決定しました。

順位	団体名
指定候補者	東急スポーツオアシス・日本水泳振興会共同事業体
次点候補者	スポーツでつながる 西区みらいパートナーズ

## 8 得点

評価項目	配点 (下記×4名)	指定候補者 東急スポーツオアシス・日本水泳振興会共同事業体	次点候補者 スポーツでつながる 西区みらいパートナーズ	野村不動産ライフ＆スポーツ・横浜市スポーツ協会共同事業体	YOKOHAMA にしくスポーツコミュニティ
1 団体の状況	9 点	24.0	24.6	23.4	23.4
2 施設の平等・公平な利用の確保	10 点	26.8	26.8	24.8	24.0
3 施設の効用の最大限発揮	20 点	54.4	56.0	50.4	51.2
4 本市の重要施策を踏まえた取組	6 点	16.8	15.6	13.2	16.8
5 管理運営経費	22 点	57.2	49.2	54.8	54.0
6 施設管理	10 点	28.0	26.0	24.0	26.0
7 安全管理	6 点	16.8	16.2	16.8	16.8
8 地域との協力	14 点	43.4	29.4	36.4	32.2
9 モニタリング	3 点	7.2	7.2	7.8	7.2
10 新型コロナウイルス感染症等の対策	5 点	15.0	15.0	14.0	14.0

に関する取組					
合計	105 点	289.6	266.0	265.6	265.6
11 加減点項目	-5～ 10 点	加減点無し	加減点無し	加減点無し	加減点無し
総合計	115 点	289.6	266.0	265.6	265.6

## 9 審査講評

### (1) 東急スポーツオアシス・日本水泳振興会共同事業体【指定候補者】

多くの事業展開に対し具体的な提案があり、スポーツ教室などの事業面や施設管理に関する提案内容及び管理運営経費の考えなど、幅広い項目において高い評価につながった。特に地域との連携に関する提案に具体性があり、今後、西区のスポーツ活動の拠点として十分な役割を果たしうると感じられた点は、委員からの期待感も含め、高い評価となった。

### (2) スポーツでつながる 西区みらいパートナーズ【次点候補者】

施設の効果を最大限に発揮する観点で、積極的な提案がなされた点は評価された。実行されれば相当のメリットを生むことが考えられるが、一方で、かなり強気ともいえる指定管理料の削減額に対する、設備投資や利用者増等のバランスや実現性の面で、本委員会では確信を持つに至らなかった。最も重視した、地域との関わりについての説明は、具体性が十分とはいえず、地域に根付いた運営を期待できるのか、疑問に感じ評価を下げた面もあり、その点は今後に期待したい。

### (3) 野村不動産ライフ&スポーツ・横浜市スポーツ協会共同事業体

構成団体によるこれまでの本施設の管理の実績を踏まえた提案となっており、十分な内容が提案されている。しかし、実績に頼りすぎている印象も否めず、新しい提案内容についても現状の中で実現可能なのでは、との意見もあった。最もアドバンテージを発揮するであろう、西区にとってのメリットや地域との関りについて、説得力のある提案が無かった点は残念であり、評価が低くなった面は否めない。

### (4) YOKOHAMA にしくスポーツコミュニティ

プロアスリートによる教室イベント等、代表団体の企業実績を生かした華々しい提案内容は目を見張るものがあったが、区の施設であるスポーツセンターの特性になじまない面があり、評価に結びつかなかった。地域に対する提案や、利用者増に対する地道な取り組みについては、もう少し具体的な内容が欲しかった。

## 10 総評

いずれの応募者も、全国で十分な実績を持つ企業等による共同事業体4者による、高いレベルでの競争となった。そのような中、本審査に当たっては、横浜市はもとより、「西区」の施設であることに着目し、どれだけ地域や区民にとって、メリットのある提案がなされているか、論点整理して応募書類及び面接審査を行った。総論としては、提案書類で全般的に良い内容が書かれていても、細かい部分での具体性、予算の裏付け等の現実性などで疑義が残ったものは評価が下がった。どの応募者も実績ノウハウが豊富であり、組織や安全面等では差が付きにくかったが、地域への思いに具体性、さらに言えば期待感や納得感

を持てたかが最後の焦点だったといえる。そういう面で、指定候補者には高い評価が集まる結果となった。

今後、指定候補者と区とは、提案された内容が確実に履行され区民に還元できるよう、協定やモニタリングを通じ責任を持って進めていただきたい。そして、指定候補者が新しく地域の中に入っていくにあたり、誠実に関係性を築きながら、スポーツ活動等を通じて心身の健全な発達に寄与するという本施設の役割を、一層発展していただけるよう期待したい。